

幼稚園・保育園で私は何をしてきたのか…と「一人反省会」
聴講生 原智代

孝子さま

「趣味スウェーデン」の原と申します。

仕事で2006年からスウェーデンにかかわることになりました。

今は、月に何回かお手伝いしているだけですが、毎日スウェーデンの事を思って生活をしています。

今日のお話で、「おっばいからデモクラシー」とお聞きして、以前スウェーデンの方に、「いつから自己決定を子どもに教えるの」と聞いた時に、「赤ちゃんの時から」と言われたことを思い出しました。日本では三つ子の魂とか言いますが、生まれ落ちた時から始まっているんだなあと思いました。

「税金を払う権利」とうかがって思い出したことがあります。シングルで3人育てている時、企業のボランティアで二泊三日の母子家庭キャンプに招待していただき、末娘と行きました。子どもがボランティアさんに遊ばせてもらってる間に「自立」などの勉強会がありました。

終わってから、『助成金を貰っている間は働かなくていいじゃない。楽だから』派と、『早く正社員になって非課税から抜け出したい』派の真っ二つに分かれました。私は後者で同じ意見のお母さん達とは、なん十年経っても交流があります。でも、税金を払い出してからは、「扶養されている妻が税金払ってないのは、ずるい。一人前に見られてないってことなのに後からは色々もらえるなんて」と的外れですが、思っています。

何と言っても衝撃だったのは、保育園の事。保育園・幼稚園で働いた経験があるのですが、私は何をしてきたのか…と一人反省会でした。歌やお遊戯は手段であるはずだったのにメインになってしまい、「いかに子どもの顔を見ながらピアノが弾けるか」が大事になっていました。生きる力と知恵を意識してあげられなかったと深く反省しています。

いつか12回目のスウェーデンに行く時は、コペンで乗り換えてお会い出来たらなあと思っています。

今日は本当に色々な気づきをありがとうございました。